

2019 《前期》 構音指導講座

年中幼児からの側音化構音への指導 — 構音指導の基礎 —

ご注意：本講座は、2018年9月22日(土)・23日(日)に行われた講座の内容とほぼ同様の内容です。当方の手違いにより要項がダウンロードできなかったなどのご指摘をいただきましたので、改めて講座を開催させていただくこととしました。

また、今回は、/ki/や/ke/の構音(点)指導について、実際の指導の視聴と共に、解説も行う予定ですので、**2018構音指導講座**に参加された方のご参加も歓迎いたします。

おさそい

「今まで通級しても直らない。直すことを諦めることに踏ん切りをつけるために、今年は通級しよう」と相談し、6年生も通い続けることを決めた親子に出会いました。スポ少では柔道で活躍する女の子でした。

自分の名前に言いにくい発音があり、年中児から幼児のことばの教室、そして、小学校のことばの教室に、通算7年間もの間、週1回通級し、何一つ改善しないまま過ぎたとのことでした。そして、6年生になりました。前担当者から引き継ぎ、構音指導3回目、自分の名前が努力なしで普通に言えるようにしてあげました。先の言葉は、その時に母親から思わず出た言葉でした。当の本人は、涙を我慢するように天井を見上げ、噛み締めるように「要するに、前の先生は、指導が下手だったってだけの話よ！」と一言、しばらく歯を食いしばり天井を睨んでいました。

発音の問題は、側音化構音でした。側音化構音への指導ってそんなに難しいのでしょうか？

例えば「チ」の構音運動は、年中さんでも成人でも同じ構音運動です。ですから、年中さんへの構音(点)指導ができれば、小学生や成人に対する構音(点)指導は、もっと楽に指導ができるはずですよ。

また、[tʃ]の[t]は、[t a(た)]の[t]と同じ構音運動ですから、「た・て・と」が普通に言えていれば、たとえ「チ」の構音時に芋舌になり下顎の偏位があったとしても、舌そのものに対する指導は必要ないはずですよ。要は、[ta]や[te]や[to]から[t]が取り出せれば良いわけです。

「学齢期は劣等感に目覚める時期、不安や焦りなどの情緒性反応を示す……」との指摘もあります。ならば、先に紹介した女の子を二度と出さないためにも、幼児期からの指導に力を注ぐべきではないでしょうか。実は、幼児の構音指導って、本当は楽しく、遊び感覚でできるものなのですよ！

講座では、構音(点)の指導が、理屈ではなく生の指導(指導ビデオ)の視聴と解説を通して具体的に理解していただけるように考えました。皆様のこれからの指導の一助になればと思います。

山形言語臨床教育研究会 代表 梅村 正俊

主催：山形言語臨床教育研究会・親子ことばの相談室

開催期日：平成31年(2019)4月28日(日)10時～29日(月)16時30分

場所：山形テルサ(2階)：リハーサル室 山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

駐車場：山形テルサのHPでご確認ください

講師：梅村 正俊 親子ことばの相談室 及び さとみ矯正歯科クリニック非常勤：言語聴覚士

【参加費】 5,000円(当日) 参加募集定員：75名

【参加申込の締切】 4月22日(月) … 但、定員になり次第締め切り

尚、参加申込のFAX送信後、1週間経っても連絡がなければ『受付完了』とご理解下さい

【参加申込の方法】 指定の用紙に必要事項を記載しFAXまたは郵送にてお申し込み下さい

【問い合わせ先】 親子ことばの相談室 ※ お問い合わせは、全てFAXで

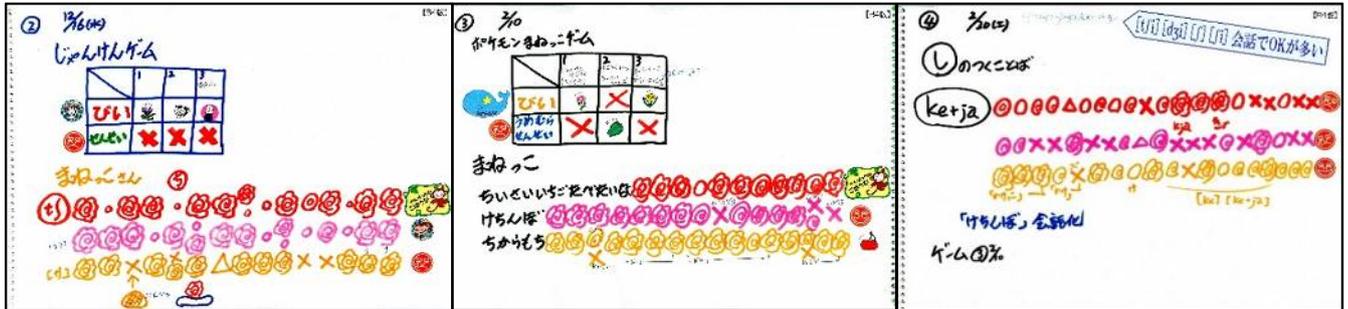
990-2483 山形市上町 5-11-24 FAX専用：023-646-6492

受付 9時30分～10時頃

10時頃～12時30分頃 「幼児の構音(点)指導の実際」=解説なしでの視聴

まずは、幼児であっても、いかに直す意欲はなくても、楽しく構音指導が受けられるか、そして[i]に側音化構音が認められても舌を平らにする指導や[i]からの指導が必要ないかを、素直に感じていただくと共に、指導全体の流れ、子どもへの指導者のかかわり方や構音(点)指導での指示の仕方等々、イメージ化していただければと思います。

- ① 年長女児びいさん(通室10回終了)：通室2回目(Full=約37分)・3回目(Full=約43分)での「チ」の指導
HPからのレポートのダウンロード：低年齢児の『誤り構音』への指導 - 側音化構音への指導は、難しいわけじゃない -



※ びいさんの指導の視聴と解説は、後期講座の1日目午前に行います

- ② 年長女児やすこさん(通室19回終了)：通室2～4回目での「ケ・キ」の指導(ダイジェスト約60分)
※ やすこさんの[ki・ke]の構音(点)指導の視聴と解説は、今回の2日目午後に行います

12時30分頃～13時30分頃 昼食(館内にレストランあり)・休憩

★ 全日程での講座の基本的な進め方

- ① 演習形式での進行が基本
- ② 質問がある場合は、講話の途中であっても、話をさえぎってでも質問して下さい!

13時30分～15時20分頃

∞ 構音(点)指導の基本 ∞

I 機能的構音障害としての側音化構音の理解

II 側音化構音時の構音運動を見てみよう

III 「構音を育てる」という観点からの構音指導 = 構音(点)指導の基本中の基本

◎ 構音指導に対する基本的なスタンス

- 幼児であっても大人であっても、構音(点)指導の基本は同じという理由
- LD児であっても、AD/HD児であっても、自閉的傾向がある子であっても構音(点)指導の基本は同じという理由
個性に応じた配慮が必要なだけ
- 側音化構音、声門破裂音、鼻咽腔構音等々、誤り方が違ってても、構音(点)指導の基本は同じという理由
- 構音点指導は「誤りの自覚がない」「直す意欲もない」子ども、むしろその方が、指導は楽で簡単だという理由

◎ 構音指導の基本は、模倣。幼児の場合、どのような関係が成立すると楽しく簡単に模倣してくれるの？

- 年齢や本人の通室目的・意欲による『楽しさ』『喜び』の違いは？「まねっこ」の言葉は、何歳児まで使用可？

◎ 側音化構音への指導に対する基本的なスタンス

- 機能的構音障害としての側音化構音に対する指導として、舌の体操などの指導は全く必要ない理由
- [i]に側音化構音が認められても、[i]から指導する必要がない理由
- 側音化構音と置換が混在する場合、側音から指導することが望ましい理由 etc

◎ 構音指導の指導プログラム(スモールステップと汎化) ※ 般化のタイミング = 指導の初期からいつでも

- プログラム上の指導内容はノルマではない。いかに効率よく段階を飛ばせるかが、早期終了のカギだという理由

◎ 「サイコロ一つあれば、構音指導の最初から終了まで指導ができる」と実践して、見せてくれた大先輩

- 幼児であっても、教材・教具を使用しない指導がベスト! 「サイコロひとつ」は、バターかな?

IV 構音(点)指導のまとめ = 幼児から成人までの構音(点)指導の基本は同じ

- 重要事項：終了判断 = 何気ない会話・寝言等々 = 無意識の発語での改善 !!

15時30分頃～15時40分頃：休憩

15時40分頃 ~ 18時頃

∞ 年中児まさき君への「チ」の指導 (通室56回終了)

まさき君の側音化構音の動態及び指導(初回~通室3回目)の動画をYouTubeにアップしました
指導の流れや雰囲気も構音点指導の重要な要素になりますが、「構音(点)指導」を重点に解説したいと考えていますので、指導の動画を1回でも視聴し、ご参加下さいますようお願い致します。

- 初回面接時(通室1回目)における構音検査の結果から(約30分)
 - ・ 誤り音の把握と側音の構音運動の観察
- 通室2回目(Full=約42分)の指導の視聴と解説
 - ・ 構音点指導への導入: “へんなべろとへんなおとのまねっこ” = 『模倣を楽しむ・褒められる』
- 通室3回目(Full=約46分)の指導の視聴と解説
 - ・ /tʃ/ の構音点指導: “はなまるいっぱい” “まねっこゲーム” = 『へんなまねっこ』から /tʃ/へ

18時頃 ~ 19時頃

夕食(館内にレストランあり)・休憩

19時頃 ~ 21時30分頃

- 通室4回目(Full=約49分)の指導の視聴と解説
 - ・ /tʃi/ の構音点指導: “まねっこゲーム” “シールゲット” = /tʃ/ から [tʃi]へ
- 通室5・6回目(ダイジェスト約45分)の指導の視聴と若干の解説
 - ・ /tʃi/ の構音指導: “じゃんけんゲーム” “まねっこさん” = 「tʃi」の習熟練習+自己修正

4月29日(月)

9時20分頃 ~ 11時頃

- 通室7回目(Full=約45分)の指導の視聴と解説
 - ・ 「チ」の構音指導: “まねっこさん” “すごろくゲーム” = [tʃi] から「ち」へ+語頭での練習と般化

11時頃 ~ 12時頃

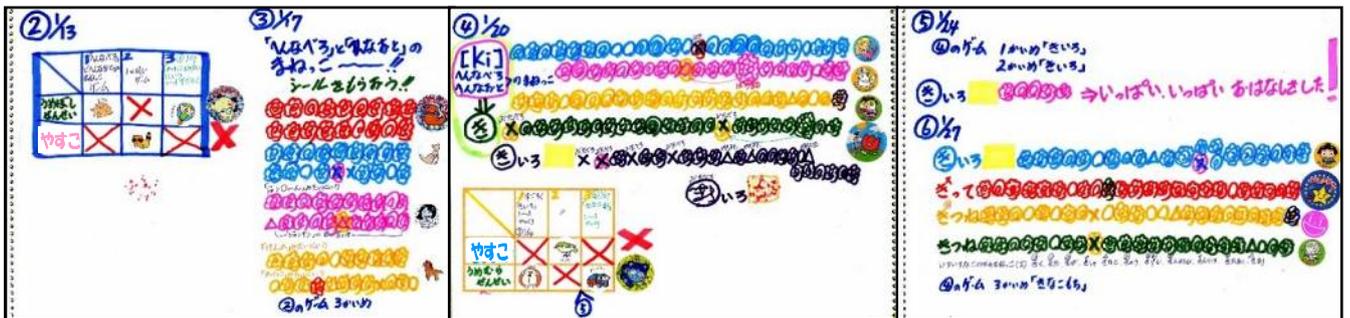
年中児まさき君への「チ・シ」の構音(点)指導のまとめ

12時頃 ~ 13時

昼食(館内にレストランあり)・休憩

13時頃 ~ 16時頃(途中休憩あり)

∞ 年長児やすこさんへの「キ・ケ」の構音(点)指導



- 初回面接時(通室初回目)における構音検査の結果から(約10分)
 - ・ 誤り音の把握と側音の構音運動の観察
- 通室2回目(Full=約38分)の指導の視聴と解説
 - ・ 構音点指導への導入: “へんなべろとへんなおとのまねっこ” = 『模倣を楽しむ・褒められる』
- 通室3回目(Full=約39分)の指導の視聴と解説
 - ・ [ke] の構音(点)指導: “へんなべろとへんなおとのまねっこ” = 『へんなまねっこ』から単語の練習へ
 - ・ [カケッコ] の構音指導: “まねっこすごろくゲーム”
- 通室4・6回目(ダイジェスト約30分)の指導の視聴と若干の解調音化構音への指導は、難しいわけじゃないー

年長児やすこさんへの「キ・ケ」の構音(点)指導のまとめ

16時頃 ~ 16時30分<終了>

全体まとめ: 構音指導の全体像(概略)と構音指導の2つの要素 他

- ◎ 構音指導の全体像(概略)
- ◎ 構音指導の2つの要素 { 音づくり: 構音(点)指導 = 子音や音節レベルで構音ができるようにする指導 = 質的指導
 構音練習: 社会化へのステップ(プログラムの必要性) = 量的指導 <後期講座で詳細の解説>

悩みは私の方が深いかも…

< 小学2年男子の母親 >

のぶお君が、母親と一緒に相談にみえました。母親と話をしている、すぐに気が付きました。母親の発音の中に「キ」や「ケ」の側音があることに。

母親から発せられた「悩みは私の方が深いかも…」は、同じ発音の誤りをそのままにしていた自分の過去を振り返り、「将来自分と同じような経験をするのじゃないか？ 我が子の発音が本当に直るのか？」と、将来への不安を抱きながらも我が子への愛情を吐露した言葉と受け止めました。

母親に、近年ことばの教室では、「キ」や「ケ」の側音化構音に対する指導を軽んじる傾向があることを説明し、ご自分の体験をまとめていただきました。感謝いたします。

HPからのレポートのダウンロード：側音化構音のある母と子の指導－側音 / ki・ke・kj・gi・ge・gj / の指導経過の比較－

私は人と話をするのが好きです。が、人と話をすることにコンプレックスを感じています。それは、私の発音が他の人と違うことに気が付いたからです。

自分の発音が他の人と違うことに気付いたのは、大学生の時です。それまでは、「ちょっと言い難い言葉があるな」とか「口がまわらないなあ」と思う位で、他の人から指摘されたり、笑われたりすることもなく、「気のせいだ」と思い込んでいました。

ところが、大学時代のある日のこと、突然「佐藤さん“き”って言ってごらん。」と言われたのです。自分でも言い難いと感じていた発音でしたが、「あなたの“き”なんか変だよな。」と言われ、驚きました。さらに続けて、私の真似をしてその人が言った“き”の発音は、私が聞いても変だと感じましたし、『自分の発音は他の人と違う』と自覚をした最初です。それからと言うもの、“キリン”や“ペンギン”がうまく言えないということで、時々ふざけては「キリンって言ってみな」、「ペンギンって言ってごらん」などとからかわれるようになりました。そんな時私は、みんなの前では笑っていても、心の中では深く傷ついていました。「どうして言えないのだろう？」とアパートで一人、鏡に向かって発音の練習をしてみました。なかなか上手に言えるわけもなく『嫌な発音だ』と諦め、大学生活を送るようになりました。

大学卒業後、教員として働くようになると、ますます自分の発音が気になるようになってきました。生徒の前で教科書を読んだり、マイクを通して全校生の前で話をしたりすると、笑われたりすることはありませんでしたが、とても緊張し苦痛の連続でした。

結婚すると、さらに嫌なことが増えました。それは、自分の名字にある“き”がうまく発音できず、よく聞き返されるのです。特に電話がだめです。何回も言い直し、最後には「か、き、く、け、このきです」と言うこととなります。

最近、ある病院の先生から、長男の発音について指摘を受けました。実は長男も私と同じような発音で「ちょっと変かな？」とは思っていたのですが、私もそうであるように“上手に付き合っていかなければならないこと”なのだと思っていました。さらに“ことばの教室”への通級を勧められました。私の発音を聞いて育った長男のことですから、私は母親としての責任を感じ、悲しい気持ちになりました。反面、早く気づき、治すチャンスなのだと思うと少し楽な気持ちにもなりました。

私も小学生の頃、“ことばの教室”への通級を勧められたのだそうです。しかし、私の両親は通わせることはありませんでした。“ことばの教室”に対するイメージなど様々な理由があったのでしょうが、結果として大人となった今でも嫌な思いをし、苦勞しています。「小学生の時にしっかり練習していれば…」と思うと残念でなりません。

長男の通級の際、「指導が必要」と言う病院と「必要なし」と言う小学校の間で苦勞しました。関係機関の認識の違いを感じました。当然素人の私たちの“言葉や発音、ことばの教室”に対するイメージなど、いかにいいかげんなものであるか想像がつかず。

長男は“ことばの教室”へ通ってきれいな発音に変わるでしょう。最近、次男がたくさんおしゃべりをするようになりました。「次男の発音は大丈夫だろうか？」とても心配しています。

私は今からでも“大人のことばの教室”があるのなら通って発音を治したい。そして、どんな言葉も気にせず、思い切り話してみたいと思っています。

のぶお君の母親の手記から学ぶ事・学ばなければならない事

「今、目の前にいる子どもの誤った構音に向き合うということは、その子の未来に向き合うということ」

軽々しく「この程度改善したら…」「[ki・ke]の側音は、意味として通じることが多いから問題にする必要はない…」と考える訳にはいかないのです！

「側音化構音は、指導が難しく、なかなか改善しにくい」という伝承は、あなたで終わりにしませんか？！

FAX番号 023-646-6492

整理番号（ /75）

参加申し込みの際は、整理の都合上、この「参加申込書」をこのままご使用下さい

参加者お一人につき1枚でお申込み下さい。また、送付書はつけずに送信して下さい

※ 2019 後期 構音指導講座の参加も希望される方は、「後期申込書」でもお申込み下さい

○ 太枠内の全てについて、楷書でご記入下さい。また、※1・2の欄は必ずご記入下さい

◎ 講座への参加状況につきましては、（参加・不参加）のいずれかに○印をつけて下さい

| | | |
|---|---|------------------------|
| 講座への参加状況 | 2018構音指導講座（参加・不参加） | 2019後期構音指導講座（参加予定・不参加） |
| フリガナ お名前 | ※1 言語関係の担当：通算 年目 | |
| 所属所名 | | |
| 所属所電話番号 | 電話番号 | ※2 FAX 番号 |
| | ※2 ご自分の 携帯番号 | |
| | ※2 中止の連絡等、緊急時の連絡先にしますので必ずご記入ください。 所属所への連絡だけで、間違いなく連絡がつく場合は、携帯番号の記載は必要ありません。 | |
| 所属所住所 | 〒 — 都道 府県 | |
| 講座を知ったきっかけは？ | <input type="checkbox"/> ハガキでの案内 <input type="checkbox"/> 相談室のHP <input type="checkbox"/> YouTubeを見ていて <input type="checkbox"/> 知人からの紹介 | |
| 講座の内容に対するご希望・ご質問をご記入下さい。また、まさき君の通室2・3回目の指導についてのご質問もどうぞ。 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

相談室出版書籍の取り扱いについて = 「絵カード作成本」は、ご注文いただいた方に当日配布いたします

| 書籍名 | 定価(税込) | 販売価格 | 注文数 |
|------------------------|---------|------|-----|
| 『助詞』理解の難しい子のための絵カード作成本 | 5,000 円 | 円 | 冊 |

※ サービス料金：5冊以上の購入の場合、1冊 5,000円のところ、1冊 4,000円で販売いたします



助詞指導、構音指導、吃音児の発語指導、そして、日本語教育等々、様々な場面や対象者に使用することが可能な絵カードです。

※ 「『助詞』理解の難しい子のための絵カード作成本」の詳細につきましては、相談室HPをご覧ください。

2019 《後期》 構音指導講座

A 早期終了を目指す側音化構音指導の実際

— 早期終了を目指す「指導プログラムと指導上の基本的な留意事項」 —

B 構音指導オムニバス —子どもを育む構音への指導—

— 様々な指導場面の視聴とその解説 —

おさそい

2018構音指導講座と2019《前期》構音指導講座では、主に構音(点)指導、つまり、『音づくり』を中心に指導ビデオの視聴と解説を行いました。

構音指導を支える子どもとの関係

※ B 構音指導オムニバス —子どもを育む構音への指導— : 2019 後期

構音指導の2つの要素 {

- 音づくり = 構音(点)指導
- ※ 年中児からの側音化構音への指導 : 2019 前期
- 構音練習(ドリル)での般化(社会化)
- ※ A 早期終了を目指す側音化構音指導の実際 : 2019 後期

そして、構音指導の難しさは、「誤り自覚や直す意欲」の有無とは無関係。従って、年中児からでも側音化構音への指導が可能である。また、[i]に側音化構音が認められても[i]から指導を始める必要がない。また、構音時に下顎に偏位が認められても、たとえ舌に膨らみが認められても、顎や舌への直接的・間接的な指導は必要ない等々について、年中児まさき君の側音化構音に対する指導を通して解説を行いました。いかがだったでしょうか？

後期講座では、『会話での定着』を図るための指導プログラムの効果的な立て方、そして、構音(点)指導を成立させる子どもとの関係づくりについて、わがままな子や緘黙的な傾向のある子との関係の取り方、逆に、「誤り自覚や直す意欲」があり早期改善が求められる子へのアプローチの仕方等々について、考えてみたいと思います。

山形言語臨床教育研究会 代表 梅村 正俊

主 催：山形言語臨床教育研究会・親子ことばの相談室

開催期日：令和元年(2019)8月17日(土)10時～18日(日)16時30分

場 所：ヒルズサンピア山形(2階：蔵王の間) 山形市蔵王飯田637 ☎023-631-1555

講 師：梅村 正俊 親子ことばの相談室 及び さとみ矯正歯科クリニック非常勤：言語聴覚士

【講座参加費】 5,000円(当日) 参加募集定員：100名

【参加申込の方法】 指定の用紙に必要事項を記載し、FAXまたは郵送にてお申し込み下さい

【参加申込の締切】 8月2日(金) … 但、定員になり次第締め切ります

尚、参加申込のFAX送信後、1週間経っても連絡がなければ『受付完了』とご理解下さい

【宿泊申込の締切】 7月26日(金) … 先着40名：詳細は、参加申込書に記載

【昼食申込の締切】 7月26日(金) … ホテルの近くにはコンビニ・食堂・レストランはありません
あらかじめ予約をされことをお勧めいたします

【問い合わせ先】 親子ことばの相談室 ※ お問い合わせは、全てFAXで

990-2483 山形市上町 5-11-24 FAX専用：023-646-6492

★ 全日程での講座の基本的な進め方

- ① 演習形式での進行が基本
- ② 質問がある場合は、講話の途中であっても、話をさえぎってでも質問して下さい！

8月17日（土） ※ 登場するお子さんの名前は、全て仮名です

受付 9時30分～10時頃

10時頃～12時30分頃

2019 構音指導講座の全体構成＜概略＞

構音指導を支える子どもとの関係

※ B 構音指導オムニバス - 子どもを育む構音への指導 - << 2019 後期 >>

構音指導の2つの要素 {

- 音づくり = 構音(点)指導：質的指導
- ※ 年中児からの側音化構音への指導 << 2019 前期 >>
- 構音練習(ドリル)での般化(社会化)：量的指導
- ※ A 早期終了を目指す側音化構音指導の実際 << 2019 後期 >>

A 早期終了を目指す側音化構音指導の実際

— 指導プログラムと指導上の基本的な留意事項 —

年長児びいさん(通室10回終了)の側音化構音「チ・シ」への構音指導

HPからのレポートのダウンロード：低年齢児の『誤り構音』への指導 - 側音化構音への指導は、難しいわけじゃない -

[チ・シ]の初回構音点指導から日常会話への指導 [通室4回目] までの視聴と解説

◎ 「チ・シ」の構音が会話にある程度（指導終了ではありません）定着するまでのプロセスの指導の視聴と解説で、大まかな指導のプロセスをイメージしていただきます

② 3/6(水)

じんけんゲーム

| | | | |
|------|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 |
| びい | ● | ● | ● |
| せんせい | × | × | × |

まねっこ

① ② ③ ④ ⑤

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

③ 3/6

かきモンまねっこゲーム

| | | | |
|------|---|---|---|
| | 1 | 2 | 3 |
| びい | ● | ● | ● |
| せんせい | × | × | × |

まねっこ

ちいさいちいさいは ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

けちんぼ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

ちからもち ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

④ 3/6(水)

「けちんぼ」会話化

ケム③%

[tʃi] [dʒi] [ʃi] [ʃi] 会話でOKが多い

① のつこぼ

kerja ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

「けちんぼ」会話化

ケム③%

Ⅲ 機能的構音障害全般における構音指導のプログラム

＝ 構音指導プログラム と 指導上の基本的な留意事項 ＝

重要：例えば、[tʃi] が [ki] に置換しようと側音化構音になろうと、目指すは [tʃi] の構音運動ですから、側音化構音だけに有効なプログラムというものは、必要ないですし、あり得ません。

重要：構音指導プログラムを丹念に順序良くこなしていくことが、効果的な指導ではありません。構音指導は『ノルマ』の指導ではありませんから、指導の全体像を意識しながらも、その子に応じていかに効率よく効果的に段階を飛ばせるかなのです。そこに**早期終了**のポイントがあるのです。

- 1 構音指導開始音（初めに指導する誤り音）の選定
- 2 音づくり = その音が言える = 基本的には質の指導【講座前期で終了：若干の補足説明】
音づくりの段階は、ない！ あるのは指導のレパートリー
- 3 構音練習プログラム(会話への般化の手続き) = 基本的には量の指導

指導の各段階ごとの『指導映像』での解説

続けて言う

1つの単語の語頭での練習から「語中化」への指導の例

「句や短文で言える」の練習での般化化：会話化

楽しい反復練習＝短文の練習…トランプあわせゲーム

家庭での練習 － 効果的な導入のタイミング・必要な練習課題・留意事項 －

実施の仕方によっては、「新たな構音障害の形成 や 誤り構音の強化」の原因に！

Ⅲ 側音化構音の指導の経過の中で認められる逆戻り現象(?)の見方と指導の見直し

逆戻り現象かなあ？ 元々直っていなかっただけ？

Ⅳ 日常会話に般化し難い子どもの特徴とそれに対応する指導の基本 ほか

予後の判断の観点 { 短期間で終了する子ってどんな子 = 側音化構音の子であっても、通室15~20回前後での終了
長期間を要する子ってどんな子

HPからのレポートのダウンロード：イ列構音障害の改善に要した時間とその要因について

HPからのレポートのダウンロード：イ列構音障害の改善に要した時間とその要因 — 指導事例を通して —

◎ 打たれ強い子 打たれ弱い子 ◎ 誤音認知の問題 ◎ 単語レベルでの連続発語の苦手な子

15時頃 ~ 15時20分頃：休憩

15時20分頃 ~ 18時頃

B I 構音指導オムニバス — 子どもを育む構音への指導 —

◀ 15時20分頃 ~ 8月18日(日) 12時頃まで ▶

色々な子どもの様々な指導場面の視聴を通して『子どもを育む構音への指導』を考えてみましょう

話題① 構音の誤りが多く、話がほとんど通じないことに苛立ちを感じていた年長児への構音指導

YouTube事前視聴 = ほとんどの発語を理解することが難しかった男の子 = 1年間指導時のピフォーアフター全編
まさと君は、話がほとんど通じず、幾つかの相談・指導機関からは知的障害と誤った判断をされていました

Q：まさと君の構音検査から、皆さんの考える構音指導開始音の子音は、何でしょう？

話題② まともな自己紹介ができるようになりたいと来室した中学生3年生への構音指導

6年間ある機関で指導を受けましたが直りませんでした。でも、でも、諦めきれず、矯正歯科へ…

話題③ 緘黙的傾向が強い1年生エイ君との「関係づくり」と構音指導

HPからのレポートのダウンロード = 「話をしない」と「発音の誤り」とを主訴に来室したエイ君の2回目の指導の中での変化

話題④ ゲームの負けに弱いわがままな子との「関係づくり」と構音指導 ほか

話題⑤ 通級5回で指導終了した1年生A君の通級2回目の指導の様子

HPからのレポートのダウンロード「構音指導における『構音の改善』に関わるいくつかの要因について — 指導事例を通して —

話題⑥ 誤りの自覚があり、直す意欲もある子の練習風景

話題⑦～ 皆さんから要望があった指導の様子

お誘い：例えば、「①こんな子どものこんな指導場面を見せて欲しい」「②指導の終了を考えているが、終了判定をして欲しい」等々がありましたら、参加申込書にご記入下さい

①につきましては、できるだけご希望に添えるよう、対象になるお子さんの保護者から公開の了解が得られるように努力したいと考えています

話題⑤⑥につきましては、⑦の状況によっては、割愛します

ご注意：話題に番号がふってありますが、視聴・解説の順番を示すものではありません。指導の内容に基づいて順番を考えますので、講座の「当日の日程」に示します

18時頃～19時頃：夕食・休憩

19時頃～21時30分頃

21時30分頃～宿泊者での簡単な懇親会（希望参加）

8月18日（日）

9時頃～12時頃

BⅡ 構音指導オムニバス - 子どもを育む構音への指導 -

12時頃～13時

昼食・休憩

13時頃～（途中休憩あり）

子どもを育む構音への指導

「トランプ一つあれば、構音指導の最初から最後までできる」と言って実践して見せてくれた大先輩＝論より証拠

◎ 『指導』の基本

○ 指導は、「〇〇〇～〇〇〇〇」から始まり、「□□□□～□□□」で終わるの心構え

「1回の指導の流れ」と「指導室内での活動（練習）」

○ 今日の『この子、どんな子？』



Q：3人のお子さんの初回面接の際、それぞれに写真のような人形の置き方をしました。さて、指導者は、3人のお子さんをどのようなお子さんと判断したのでしょうか？

○ 子どもを透明な存在にしないための『今日の指導者？』

○ 指導のプロセスで、自信が培われ、自立・自律していく力を育む指導

・ 指導における「平行四辺形的関係」と「台形的関係」

練習（構音）することが、楽しい

練習（構音）することに自信がある

だから、もっと練習（構音）したい

○ 指導における評価と賞賛

◎ 指導にあたっては、まずは自己点検を！

◎ 子どもを育む構音への指導 = まとめ

「今、目の前にいる子どもの誤った構音に向き合うということは、その子の未来に向き合うということ」

16時30分<終了>

「保育園の時は大変だったもんね。ポクしゃべれなかったから、お友達もポクが何言ってるか分からなくてさ」「でも、今は、しゃべれるからいいよねー」「あー、しゃべれるようになってよかった」とまさと君

< まさと君の母親 >

息子に異変が起きたのは、平成〇〇年の夏、1歳9ヶ月の時でした。

まっすぐ歩くことが出来ず、持ったコップから水がこぼれるほど、手が震えたのです。その後、様々な検査を受けるも、はっきりとした原因は分からず「急性小脳失調症」との診断を受け、個人差もあるが、3ヶ月～1年で自然に落ち着くと説明を受けました。

1年経過する頃には、震え等の症状は落ち着いたものの、言葉の遅れを心配した医師のすすめにより耳鼻科を受診。異常はみられず。「あ」「ん」などの単語と身振り手振りにて意思疎通は出来ていたため、「まあ、男の子だし、遅いだけ」と言いきかせて過ごしていました。

3歳児健診の際にも「様子をみましょう」「入園後のお友達からの刺激に期待しましょう」ということで、入園当時は、ほぼジェスチャーでのやりとりでした。

入園しておよそ2ヶ月。園より今後の指導に不安があるとの話をいただき、すぐに3歳児健診でお世話になった臨床心理士さんに連絡をとり、県の発達相談を受け、発達支援の受け入れ先を探し、園とは別に週に1度通いながら、やっとたどり着いた某●●センター。息子は4歳3ヶ月になり、発語に関しては何の進展もない状態でした。結局ここでも「まだ年齢的にもこれから伸びる可能性は充分にある」「様子をみましょう」で、特に進展はありませんでした。

そうして保育園、年少・年中をわずかの単語（単音）とジェスチャーで何とか乗り切り、いよいよ年長。入学を控え、さすがに家族にも不安が募りましたが、受けている支援を続けていただきながら、時が経つのを待つしかないという、非常にもどかしい日々を送ることしかできませんでした。

そんな我が家に転機が訪れたのは、平成〇〇年の6月。年長となり2ヶ月が経ったころ、小学校の「ことばの教室」の先生による就学前の「言葉の検査」があったのです。兄が通学中の学校の先生であったこともあり、すぐに個人面談となり、その席で「梅村先生」をご紹介いただいたのです。

前置きが長くなりましたが、そんな状態で、初めて梅村先生とお話し、息子の状態を説明したところ、「お母さん、今まで何やってたの?」「もう年長でしょう?」「様子を見ている場合じゃないでしょ」「日程決めるからすぐに来て」と…。

えっとー、上記諸々してきたわけですよ。様子見ている場合じゃないのは重々承知の上ですが、どこに行ってもそう言われるんですけど……。不安だらけの中、6月末に面談を受けさせていただき、7月6日より「親子ことばの相談室」に週2回通室することになりました。（この時点で某発達支援事業所は退所）

息子が話せないのには、きちんとした理由があり、それは経過をみていけば改善させるものではなく、適切な指導が必要なのだといいます。それまで、母音しか話せない子だと思っていた息子は、子音と併せて音を作り上げることができなかつたのです。（違ったらゴメンナサイ）

梅村先生が作ってくれる「音」での遊びも交えながら楽しく吸収していく息子は、あっという間に「ママ」と呼べるようになり（それまでは「ばば」）、通室の度に、口からでる「発音」が増えていきました。

あわせて、9月には就学予定の小学校の「ことばの教室」への通室が決まり、週に3度、我々が願っていた「ことばに特化した支援」をいただけることになったのです。そんな日々が過ぎ、11月には、「さ行」「ら行」の他、句読点、促音、拗音などの細かい部分以外は、だいたい話せるようになり、園での様子も会話で伝わるまでになっていました。12月に開催されたクリスマス会でも、元気いっぱい踊り、歌っていました（自信がないため口パクですが…）

言葉で伝える事ができず、自己表現が少なかった息子が、どんどん自信をつけ活発になっていく魔法のような半年間。これまではいったい何だったのか。もっと早く出会いたかったと何度も思いましたが（今でも思っている）、梅村先生に出会う前に彼が受けていた支援は、先生と出会うための準備だったんだと思うようにしています。

- ・友達には分かってもらえないと知っていて、すぐに先生の所に行く。
- ・欲しいものがあったても自分では表現しようとせず、すぐあきらめる。
- ・「やってみる」という姿勢がない。
- ・自信をもってやれることしか、やらない。

そんな彼が、園では、体の不自由なお友達を助け、先生を独り占めして、ゆっくりと自分の思いを伝える時間をいただき、精神的にだいたい成長させていただいたからこそ、相談室での指導の間、一度も席を離れることなく、母（家族）が待つ部屋に来ることもなく、貪欲に「言葉」を学べたのだと思います。

そして、当初は、1年以上かかるだろう。従って、入学までには間に合わない。と言われていた指導も、平成〇〇年4月5日。入学式の2日前にことばの相談室を卒業する運びとなりました。

『今まで何やってたの？』『様子を見ている場合じゃないでしょ』

行政を頼り、必要とする支援先を探し、支援を受け、ただひたすらに「様子を見ましょう」「成長する子どものチカラを信じましょう」と言われ過ごした日々の中で私自身が常に感じていた思いでした。町役場職員をはじめ、保育園、受け入れ先施設、支援員の方々、県の相談担当者、医師のみなさま、数多くのスペシャリスト（だと思っていた）を介しても出会うことの出来なかった、理想の指導者に巡り合わせてくれたのは、学校の先生だったのです。「専門分野」の大切さを痛感しました。

言葉のスペシャリストの存在を「言語訓練士がいるから」と選んだ支援受け入れ先の職員ですら知らない現実を目の当たりにしたのです。

指導さえ受けられれば改善、いえ解決する問題だったのに、その指導者に巡り合うまでの道のりの長かったこと…。

金銭的なこと、家族や周囲の理解等、支援を受けたいと思っても、なかなか進めない状況もあることも知りました。幸い私は、夫はもちろん、同居する夫の両親の理解もあり、思うままに息子のために走ることが出来ました。担当職員にも恵まれ、親身にもなっていました。園の先生など貴重な時間を割いて息子のために尽力くださり、関わって下さった全ての皆さまに感謝はしております。

息子は元気いっぱい小学校に通い、音読や計算カードといった宿題にも意欲的に取り組んでいます。

そんな彼がある日、「保育園の時は大変だったもんね。ボクしゃべれなかったから、お友達もボクが何を言ってるか分からなくてさ」「でも、今は、しゃべれるからいいよねー」「あー、しゃべれるようになって良かったー」と言い出した時には驚きました。保育園時代、そんな風に感じていたなんて思いもしなかったからです。

今もなお、小学校の「ことばの教室」にお世話になっている息子ですが、しっかりと「ことば」でコミュニケーション（会話）ができております。梅村先生を結び付けてくださった宮宿小学校の渡辺先生には、本当に感謝いたしております。

やっとまともな自己紹介が出来そう

< 中学3年男子：高校入学を目前に >

小学生と中学生の始め頃、僕の苦手なことは、『自己紹介』だった。

本来それは、初めて会った相手に対し、自分の事を知ってもらおう為にすることだが、「s」の発音が上手く出来なかった僕は、人前で言葉を発することがとても苦痛でたまらなかった。

思えば、自分の発音がおかしいと自覚したのは、小学3年生くらいのころだったろうか。小学2年の秋に転校し、全校生徒の前で自己紹介をし、笑われたことを今もはっきりと覚えている。幼い頃は、その事を深く考えずにいたのだが、発音がおかしかったということなのだろう。

それから、小学6年生の卒業式。一人ひとりが自分の夢をステージの上で話す機会が設けられた。もちろん、「大声でハキハキと」という“めあて”のもとで。

日本語というものは本当に面倒くさいと当日は思っていた。丁寧語になれば「です。ます。」が必ず付く。実は、僕は、「s」の発音が出来ないということを知られないようにする為、なるべく「s」を用いない文字や単語を使うという工夫をしていた。

しかし、これから次々に行うことになるであろうスピーチや発表事に丁寧語は必要不可欠である。そんなことを考え、自分の工夫にも疲れていた僕は、「発音が良くなるのは、歯並びが悪いからではないか？」と母に相談した。そう思うのも無理はなかった。事実、小学6年生までの6年間以上『ことばの教室』に通っていたが、発音は良くならなかったからだ。

そうして歯を治そうと行ったクリニックのことばの先生に言われた事は、「歯を治さなくても発音は出来るかもしれない。」ということだった。

半信半疑だった僕は、とりあえず先生の言う通りにしているうちに「s」の発音が出来てしまった。6年以上を費やしても出来なかった発音が1回足らずで出来てしまったことに疑問も抱いたが、先生曰く、「ことばの教室の先生の教え方が間違っていたか、指導の仕方を知らなかった」らしい。

もっと早く先生のもとを訪れていればと、つくづく思うが、過去のことはこの際笑い話にでもして、新しい人生を歩んでいこうと思う。高校入学前に治せて本当に良かった。

やっとまともな自己紹介が出来そうな気がする。

参加申込み締め切り；8月7日（水） 2019 《後期》 構音指導講座 参加申込書

FAX番号 023-646-6492

整理番号（ /100）

参加申し込みの際は、整理の都合上、この「参加申込書」をこのままご使用下さい

参加者お一人につき1枚でお申込み下さい。また、送付書はつけずに送信して下さい

※ 2019 前期 構音指導講座の参加も希望される方は、「前期申込書」でも お申込み下さい

○ 太枠内の全てについて、楷書でご記入下さい。また、※1・2の欄は必ずご記入下さい

◎ 講座への参加状況につきましては、（参加・不参加）のいずれかに○印をつけて下さい

| | | | | |
|--|---|-------------|-------------------------------|----|
| 講座への参加状況 | 2018構音指導講座（参加・不参加） | | 2019前期構音指導講座（参加・不参加） | |
| フリガナ お名前 | | | ※1 言語関係の担当：通算 | 年目 |
| 所属所名 | | | | |
| 所属所電話番号 | 電話番号 | ※2FAX 番号 | | |
| | ※2ご自分の 携帯番号 | | | |
| | ※2 中止の連絡等、緊急時の連絡先にしますので必ずご記入ください。 所属所への連絡だけで、間違いなく連絡がつく場合は、携帯番号の記載は必要ありません。 | | | |
| 所属所住所 | 〒 _____ 都道府県 | | | |
| 昼食お弁当の希望 | 17日(土) あり なし | | 18日(日) あり なし 【和食系：1,000円 税込み】 | |
| 宿泊の希望 | あり なし | | | |
| 講座を知ったきっかけは？ | <input type="checkbox"/> ハガキでの案内 <input type="checkbox"/> 相談室のHP <input type="checkbox"/> YouTubeを見ていて <input type="checkbox"/> 知人からの紹介 | | | |
| ①への希望：希望の回に○印 ②への希望： あり なし ③への希望： あり なし ① びいさんの指導への視聴希望 = 通室 5 6 7 8 9 10 回目の指導の視聴を希望 ② 皆さんの現在指導中の事例に対するQ&A = ある場合は、疑問点・観点が分かる5～10分のビデオの準備を！ ③ こんな子どものこんな指導場面を見せて欲しい ②③の簡単な概要： _____ | | | | |
| 上記以外の講座の内容に対するご希望・ご質問をご記入下さい | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

【 宿泊申込の条件 】 宿泊ホテル：ヒルズサンピア山形 ☎023-631-1555

17日(土) 一泊：夕・朝食付 料金：9,950円(消費税・入湯税込)

尚、宿泊部屋は、一室4名での和室になります。同室になる方の組み合わせは、職種の違いや地方との交流等を考慮し決めたいと考えています。事務局にご一任いただける方のみ、お申込み下さい